

成績について

履修登録を行い各授業に出席し、受験資格を得られた学生に限り所定の試験を受けることができます。その試験で合格の評価を得た学生には、所定の単位が与えられます。

1 受験資格

- 当該科目を履修登録していること。
- 出席時数が授業時数の3分の2以上であること。ただし、情報処理に関する演習科目は5分の4以上であること。

2 試験方法

試験はその科目に応じて、筆記・口述・レポート・課題の制作や実技等によって行われます。

3 試験

各科目について、前期・後期の期間内に試験を行います。試験に関する連絡事項は、担当教員の指示に従ってください。

4 試験受験上の注意

- 試験教室では担当教員又は監督者の指示に従ってください。
- 受験の際は、必ず学生証を机の上に提示してください。忘れた場合は、教務課で『仮学生証』の発行を願い出てください（仮学生証は発行日当日に限り有効です）。
- 試験開始後20分までを入室可能時間とし、それ以後の入室は認めません。
- 原則として、試験開始後30分以内の退室は認められませんが、開始から30分経過後は退室することができます。ただし、科目によっては試験時間中の退室ができないことがありますので、試験の担当教員又は監督者の指示に従ってください。

5 不正行為

試験中に不正行為をした者は、学則第43条の規定に基づき退学、停学又は訓告の懲戒処分となり、当該科目の単位は認定されません。

また、退学又は停学処分となった者の学籍番号・氏名等は学内掲示板で告示されます。

6 試験の欠席

通常授業と同様です。学内メール等で授業の担当教員に連絡してください。

7 追試験・再試験（授業によって実施する場合）

追試験・再試験の方法及び連絡は、科目担当教員が指示しますので、それに従ってください。なお、原則として総合教育システム「UNIVERSAL PASSPORT」のポータルシステムの授業連絡でもお知らせします。

①追試験

試験を正当な理由（病気その他やむを得ない理由）により受験できなかった学生に対して実施する試験を追試験といいます。追試験は科目担当教員の指示に従い、受験してください。

②再試験

試験等の結果、成績の思わしくなかった学生に対して再度実施する試験を再試験といいます。再試験は科目担当教員の指示に従い、受験してください。

※追試験・再試験を受験しなかった学生は、試験を放棄したものとみなし単位は認定されません。

8 成績の評価【学部生】

- 学修の評価は、学年末に行います。ただし、半期科目は各学期ごとに行います。
- 成績評価は、平常の成績・試験等により行います。
- 評点は100点満点とし、60点以上を合格とします。評点の表示は以下のようになります [学則第32条]。

	評点段階	評点の表示	評価の基準
合格	90点~100点	S	学修目標 (=到達目標) について、完全に、又はそれ以上に達成し、きわめて優秀な成績評価として認められる。
	80点~ 89点	A	学修目標 (=到達目標) について、十分に達成できている。
	70点~ 79点	B	学修目標 (=到達目標) について、達成できている。
	60点~ 69点	C	学修目標 (=到達目標) について、最低限度は達成できている。
不合格	0点~ 59点	D	学修目標 (=到達目標) について、達成できていない。
	出席回数不足・受講放棄	M	
認定	合否による認定単位	N	
	既修得等認定単位	G	

- 『成績及び単位取得一覧』ほか成績を表示するときは、評点の表示を用います。

9 成績の評価【大学院生】

- 学修の評価は、学年末に行います。ただし、半期科目は各学期ごとに行います。
- 各授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告等により、当該授業科目の担当教員が行います [大学院研究科規則第8条]。
- 試験の成績は、S、A、B、C、Dに分け、S、A、B、Cを合格とします [大学院研究科規則第9条]。

	評点段階	評点の表示
合格	90点~100点	S
	80点~ 89点	A
	70点~ 79点	B
	60点~ 69点	C
不合格	0点~ 59点	D
	出席回数不足・受講放棄	M
認定	既修得等認定単位	G

- 『成績及び単位取得一覧』ほか成績を表示するときは、評点の表示を用います。

10 成績確認

- 成績は総合教育システム「UNIVERSAL PASSPORT」の成績照会画面から確認することができます。
- 保証人（父母等）も総合教育システム「UNIVERSAL PASSPORT」の成績照会画面から確認ができます。
- 不合格になった科目が必修科目の場合は、次年度の配当学期にその科目を再度履修しなければなりません（「再履修」という）。
- 必修科目以外の科目で卒業単位数に満たない場合は、次年度以降に必要な科目を履修してください。
- 単位認定を受けた科目は、再度履修することはできません。

11 成績評価に関する問い合わせ

●「成績評価質問票」を提出

成績発表後、当該学期の成績評価に問い合わせがある場合は、指定の期間内に「成績評価質問票」に必要事項を記入し、教務課に提出してください。教務課から担当教員へ確認し、回答は教務課から学生本人に行います。成績発表日及び成績に関する質問受付期間は教務課より掲示にて連絡します。

なお、電話やメールでの問い合わせは受け付けませんので、必ず学生本人が教務課へ申し出てください。

成績に関する質問受付期間

- 前期科目：前期科目の成績発表日を含む5日間（日・祝除く）
- 後期科目及び通年科目：後期科目及び通年科目の成績発表日を含む5日間（日・祝除く）
卒業年次生は、別途指示します。

12 GPA制度

①GPA制度とは

Grade Point Average(グレード・ポイント・アベレージ)の略で、各科目の成績評価を点数に換算することで、自らの学修の状況を客観的に把握できる数値を算出します。各学期のGPA値を比較することで、学修の成果を振り返ることが可能となり、卒業までの適切な履修計画を立てることに活用できます。

GPAは履修登録をした全科目が対象となります。(ただし、認定単位科目(G評価・N評価)は対象外)

合格科目の評価が高く不合格科目が少なれば数値は上がり、対して、合格科目の評価が低く不合格科目が多ければ数値は下がります。

GPAは合格科目のみでなく、不合格や受講放棄の科目も対象となりますので、自らが履修した授業について責任を持って真剣に取り組み、主体的な学修をすることが求められます。

②本学のGPA算出方法

(1) 成績評価に応じて5段階のポイント(GP=グレードポイント)が設定されています。

合 否	合 格				不 合 格		認 定
評点段階	90~100	80~89	70~79	60~69	0~59	出席回数不足・受講放棄	認定単位
評点の表示	S	A	B	C	D	M	G・N
ポイント(GP)	4	3	2	1	0	0	対象外

(2) 下記の計算式に当てはめ、小数点第3位を四捨五入した3桁の数値で算出します。

$$\frac{(S \text{ 修得単位数} \times 4.0) + (A \text{ 修得単位数} \times 3.0) + (B \text{ 修得単位数} \times 2.0) + (C \text{ 修得単位数} \times 1.0)}{\text{履修登録科目の総単位数 (D・Mを含むが、G・Nは含まない)}}$$

【例】

科目名	区分	単位	評価	GP	単位×GP
入門セミナー	必修	2	A	3	6
読書入門	選択	2	A	3	6
女性と文化	選択	2	S	4	8
くらしのなかの日本国憲法	選択	2	S	4	8
健康と運動	選択	2	B	2	4
身体運動 I	選択	1	C	1	1
英語 I	選択	2	A	3	6
情報処理演習 I	必修	1	S	4	4
	合計	14		24	43

GPA	3.07 (43÷14)
-----	--------------

③GPAに関する留意点

- GPA値は総合教育システム「UNIVERSAL PASSPORT」学修ポートフォリオのみに表示されます。「成績証明書」及び「成績及び単位取得一覧」には表示されません。
- 不合格科目を再履修した場合、新たな評価に書き換えられて算出されます。
- GPAは、学期毎、年度毎、在学期間の通算で算出されます。
- 履修登録をした全科目（不合格・受講放棄科目も含む）が対象となります。ただし、認定単位科目（G評価・N評価）については対象外です。
- GPAは、履修・学修指導の他、国の修学支援新制度や奨学金、各種表彰者選考などの参考資料として使われることがあります。

④GPAに基づく学修指導

学期GPAに基づき、段階的な学修指導を行います。

- (1) 学期GPAが1.5未満の場合は、担任による学修指導及び履修指導を行います。
- (2) 2学期連続で学期GPAが1.5未満の場合は、担任及び学科長等を同席の上で学修指導を行います。
- (3) 3学期連続で学期GPAが1.0未満の場合は、担任と学科長等及び保証人等とともに学修指導を行います。また、状況に応じて、進路変更（退学勧告等も含む）を含む指導を行います。（進路変更は、本人が選択します。）

⑤成績優秀者の履修登録単位数の制限（キャップ制）の緩和

計画的な学修を促すため、通常の授業に加え、予習・復習を含めた学修時間を確保することを目的として年間の履修登録単位数に上限を設けていますが、年度GPAが3.0以上の学生には、各学科における翌年度の1年間に履修登録できる上限の単位数を緩和します。

【成績優秀者（年度GPAが3.0以上の学生）の単位数の上限】

学部	学科	年間で履修登録できる単位数 (成績優秀者への緩和措置)
人間生活学部	健康栄養学科	52単位
	食物栄養学科	48単位*
	食品開発学科	52単位
	人間福祉学科	52単位
教育人文学部	幼児教育学科	52単位
	児童教育学科	48単位*
	心理学科	52単位
	文芸文化学科	52単位
社会情報デザイン学部	社会情報デザイン学科	52単位

*食物栄養学科、児童教育学科では、成績優秀者への緩和措置を設けません。